

# 【 統 計 表 】

## 平成20年度農林水産情報交流ネットワーク事業 地方調査 「農村地域における生物の保全に関する意識調査」

### 1 農村地域における生物の保全に関する農業者の意識

#### (1) 生物多様性の現状に関する意識

図1-1 生物多様性の現状に関する意識

農村地域で見られる生物の種類や数が以前（10～20年前）と比べ少なくなったと思うかについて

単位：％

区 分	回答者数	計	少なく なったと 思う	どちらか といえ ば、少な くなった と思う	どちらか といえ ば、少な くなった とは思わ ない	少なく なったと は思わな い	どちらと もいえな い	無回答	区 分	
計	1	318	100.0	53.5	28.6	6.6	9.1	2.2	-	1
経 営 部 門 別										
稲 作	2	69	100.0	53.7	26.1	4.3	15.9	-	-	2
野 菜	3	81	100.0	46.9	30.9	11.1	8.6	2.5	-	3
果 樹	4	40	100.0	42.5	35.0	10.0	10.0	2.5	-	4
そ の 他 の 作 物	5	72	100.0	63.8	22.2	4.2	4.2	5.6	-	5
畜 産	6	56	100.0	57.2	32.1	3.6	7.1	-	-	6
事 務 所 別										
福 岡	7	56	100.0	48.1	30.4	5.4	12.5	3.6	-	7
佐 賀	8	39	100.0	46.2	33.3	7.7	12.8	-	-	8
長 崎	9	36	100.0	55.6	22.2	8.3	8.3	5.6	-	9
熊 本	10	54	100.0	61.0	16.7	9.3	9.3	3.7	-	10
大 分	11	41	100.0	53.6	31.7	4.9	9.8	-	-	11
宮 崎	12	38	100.0	65.8	31.6	-	2.6	-	-	12
鹿 児 島	13	54	100.0	46.2	35.2	9.3	7.4	1.9	-	13

## 【 統 計 表 】

図1-2 生物が少なくなったと思う理由（複数回答）

\* 図1-1で「少なくなった（どちらかといえば、を含む）」と回答した：261人に対する割合。

単位：%

区 分	回答者数	計	田畑や山林が減少したから	作物の生産を優先し農薬や肥料を使用したから	経済性や効率性を優先し農地・水路整備などを実施したから	耕作放棄地の増加や農地・水路などの適正な管理が十分できなくなったから	区分
計	261	100.0	17.2	65.9	58.2	25.3	1
経 営 部 門 別							
稲 作	55	100.0	5.5	69.1	50.9	27.3	2
野 菜	63	100.0	15.9	63.5	68.3	27.0	3
果 樹	31	100.0	35.5	58.1	58.1	29.0	4
その他の作物	62	100.0	25.8	62.9	51.6	21.0	5
畜 産	50	100.0	10.0	74.0	62.0	24.0	6
事 務 所 別							
福 岡	44	100.0	11.4	40.9	47.7	29.5	7
佐 賀	31	100.0	9.7	51.6	61.3	29.0	8
長 崎	28	100.0	35.7	60.7	46.4	28.6	9
熊 本	42	100.0	16.7	73.8	73.8	23.8	10
大 分	35	100.0	8.6	77.1	54.3	28.6	11
宮 崎	37	100.0	13.5	75.7	67.6	16.2	12
鹿 児 島	44	100.0	27.3	79.5	54.5	22.7	13

区 分	住宅地の建設や水路の水質が悪化するなど社会的な変化や生活様式が変化したから	ブラックバスなどの外来生物が進入したから	地球温暖化などの気候変動が起きているから	理由は分からない	無回答	区分
計	59.8	20.7	36.0	1.9	0.4	1
経 営 部 門 別						
稲 作	65.5	34.5	32.7	1.8	-	2
野 菜	58.7	19.0	39.7	-	-	3
果 樹	54.8	19.4	32.3	-	-	4
その他の作物	59.7	11.3	40.3	1.6	1.6	5
畜 産	58.0	20.0	32.0	6.0	-	6
事 務 所 別						
福 岡	68.2	34.1	52.3	-	-	7
佐 賀	64.5	25.8	35.5	-	-	8
長 崎	64.3	21.4	25.0	3.6	-	9
熊 本	54.8	16.7	28.6	4.8	-	10
大 分	45.7	22.9	45.7	-	2.9	11
宮 崎	59.5	13.5	40.5	2.7	-	12
鹿 児 島	61.4	11.4	22.7	2.3	-	13

## 【 統 計 表 】

図1-3 生物が少なくなったと思わない理由（複数回答）

\* 図1-1で「少なくなったとは思わない（どちらかといえば、を含む）」と回答した：50人に対する割合。

単位：%

区 分	回答者数	計	生物に配慮し減農薬・減肥料などの環境保全型農業を実施しているから	生物に配慮した農地・水路整備などを実施したから	生物の保護活動や取組を実施したから	周辺の生息環境が悪化する中で、生物が生息しやすい場が残されているから	理由は分からない	無回答	区分
計	50	100.0	82.0	28.0	14.0	70.0	12.0	4.0	1
人									
経 営 部 門 別									
稲 作	14	100.0	100.0	35.7	7.1	64.3	7.1	-	2
野 菜	16	100.0	75.0	25.0	12.5	87.5	12.5	-	3
果 樹	8	100.0	87.5	12.5	25.0	50.0	12.5	12.5	4
そ の 他 の 作 物	6	100.0	50.0	33.3	-	66.7	16.7	16.7	5
畜 産	6	100.0	83.3	33.3	33.3	66.7	16.7	-	6
事 務 所 別									
福 岡	10	100.0	80.0	20.0	10.0	60.0	10.0	-	7
佐 賀	8	100.0	100.0	25.0	37.5	75.0	-	-	8
長 崎	6	100.0	83.3	16.7	-	83.3	16.7	-	9
熊 本	10	100.0	90.0	20.0	20.0	70.0	10.0	-	10
大 分	6	100.0	66.7	50.0	-	50.0	33.3	16.7	11
宮 崎	1	100.0	100.0	100.0	-	100.0	-	-	12
鹿 児 島	9	100.0	66.7	33.3	11.1	77.8	11.1	11.1	13

【 統 計 表 】

図2 農村地域で印象（記憶）にある生物（複数回答）

単位：％

区 分	回答者数	計	メダカ	ドジョウ	コイ	フナ	ナマズ	その他の魚類	カエル	カメ	ヘビ	トカゲ	区分
計	318	100.0	80.2	68.2	11.3	17.6	7.5	5.0	41.2	12.3	9.1	4.1	1
人													
経営部門別													
稲作	69	100.0	84.1	72.5	13.0	21.7	11.6	2.9	43.5	8.7	8.7	2.9	2
野菜	81	100.0	80.2	65.4	7.4	9.9	6.2	8.6	49.4	11.1	12.3	4.9	3
果樹	40	100.0	80.0	65.0	5.0	10.0	2.5	5.0	42.5	17.5	12.5	2.5	4
その他の作物	72	100.0	79.2	65.3	13.9	23.6	6.9	6.9	38.9	8.3	8.3	6.9	5
畜産	56	100.0	76.8	73.2	16.1	21.4	8.9	-	28.6	19.6	3.6	1.8	6
事務所別													
福岡	56	100.0	78.6	80.4	7.1	7.1	8.9	5.4	44.6	8.9	10.7	1.8	7
佐賀	39	100.0	79.5	59.0	17.9	28.2	10.3	2.6	51.3	7.7	7.7	2.6	8
長崎	36	100.0	77.8	66.7	16.7	27.8	8.3	2.8	36.1	11.1	8.3	5.6	9
熊本	54	100.0	79.6	66.7	9.3	11.1	5.6	9.3	40.7	9.3	11.1	3.7	10
大分	41	100.0	80.5	78.0	9.8	12.2	12.2	4.9	36.6	19.5	4.9	4.9	11
宮崎	38	100.0	84.2	68.4	10.5	15.8	7.9	2.6	34.2	21.1	10.5	7.9	12
鹿児島	54	100.0	81.5	57.4	11.1	25.9	1.9	5.6	42.6	11.1	9.3	3.7	13

  

区 分	その他の両生・は虫類	トンボ	チョウ（蝶）	ワカボト	ガタムシ	ホタル	タガメ	ゲンゴロウ	その他の昆虫	鳥類（サギ、トンビなど）	ほ乳類（イタチ、ネズミなど）	無回答	区分
計	2.5	47.5	12.6	31.1	63.2	12.9	24.8	0.6	18.2	5.3		1.3	1
経営部門別													
稲作	5.8	50.7	5.8	21.7	69.6	17.4	24.6	1.4	17.4	2.9		-	2
野菜	3.7	46.9	7.4	27.2	64.2	8.6	21.0	-	28.4	8.6		2.5	3
果樹	-	45.0	20.0	52.5	62.5	17.5	17.5	2.5	12.5	10.0		-	4
その他の作物	-	54.2	20.8	27.8	59.7	6.9	22.2	-	15.3	4.2		1.4	5
畜産	1.8	37.5	12.5	37.5	58.9	17.9	39.3	-	12.5	1.8		1.8	6
事務所別													
福岡	1.8	35.7	16.1	28.6	57.1	23.2	37.5	1.8	21.4	3.6		-	7
佐賀	2.6	48.7	5.1	23.1	51.3	12.8	17.9	-	17.9	2.6		-	8
長崎	2.8	52.8	8.3	36.1	55.6	11.1	27.8	-	13.9	5.6		2.8	9
熊本	1.9	51.9	13.0	31.5	70.4	14.8	20.4	-	24.1	3.7		1.9	10
大分	2.4	48.8	12.2	36.6	68.3	2.4	19.5	-	12.2	12.2		-	11
宮崎	7.9	36.8	7.9	23.7	73.7	18.4	31.6	2.6	15.8	7.9		-	12
鹿児島	-	57.4	20.4	37.0	64.8	5.6	18.5	-	18.5	3.7		3.7	13

## 【 統 計 表 】

### (2) 生物多様性の保全の政策に関する意識

図3 農林水産省が生物多様性保全を推進していることをどう思うかについて

単位：％

区 分	回答者数	計	推進していくべきだと思う	どちらかといえば、推進していくべきだと思う	どちらかといえば、推進しなくても良いと思う	推進しなくても良いと思う	無回答	区分
計	1	318	63.5	30.5	3.5	2.2	0.3	1
人								
経 営 部 門 別								
稲 作	2	69	72.6	24.6	1.4	1.4	-	2
野 菜	3	81	59.3	33.3	3.7	3.7	-	3
果 樹	4	40	60.0	32.5	2.5	2.5	2.5	4
そ の 他 の 作 物	5	72	61.1	31.9	5.6	1.4	-	5
畜 産	6	56	64.2	30.4	3.6	1.8	-	6
事 務 所 別								
福 岡	7	56	60.7	32.1	3.6	3.6	-	7
佐 賀	8	39	51.3	41.0	5.1	2.6	-	8
長 崎	9	36	66.6	30.6	2.8	-	-	9
熊 本	10	54	61.0	29.6	1.9	5.6	1.9	10
大 分	11	41	70.8	24.4	2.4	2.4	-	11
宮 崎	12	38	73.7	26.3	-	-	-	12
鹿 児 島	13	54	63.0	29.6	7.4	-	-	13

## 【 統 計 表 】

### (3) 生物多様性の保全に関する意識

図4 農村地域の多様な生物を維持していくことについて

単位：％

区 分	回答者数	計	維持していくことは難しい	どちらかといえば、維持していくことは難しい	どちらかといえば、維持していくことは難しい	維持していくことは難しい	無回答	区分
計	1	318	23.3	44.3	25.2	7.2	-	1
経 営 部 門 別								
稲 作	2	69	34.8	36.2	23.2	5.8	-	2
野 菜	3	81	18.5	46.9	24.7	9.9	-	3
果 樹	4	40	12.5	50.0	30.0	7.5	-	4
そ の 他 の 作 物	5	72	20.8	41.7	30.6	6.9	-	5
畜 産	6	56	26.8	49.9	17.9	5.4	-	6
事 務 所 別								
福 岡	7	56	19.6	50.1	21.4	8.9	-	7
佐 賀	8	39	23.1	41.0	25.6	10.3	-	8
長 崎	9	36	27.8	47.2	22.2	2.8	-	9
熊 本	10	54	14.8	46.3	29.6	9.3	-	10
大 分	11	41	29.3	31.7	36.6	2.4	-	11
宮 崎	12	38	28.9	52.7	15.8	2.6	-	12
鹿 児 島	13	54	24.1	40.7	24.1	11.1	-	13

## 【 統 計 表 】

図5 農村地域で様々な生物が生息できる環境を維持し、生物多様性を保全することについて

単位：％

区 分	回答者数	計	生物多様性の 保全は重要で ある	どちらかとい えば、生物多 様性の保全は 重要である	どちらかとい えば、生物多 様性の保全は 重要ではない	生物多様性の 保全は重要で はない	無回答	区 分	
計	1	318	100.0	64.8	32.4	2.2	0.6	-	1
人									
経 営 部 門 別									
稲 作	2	69	100.0	71.1	27.5	-	1.4	-	2
野 菜	3	81	100.0	61.7	35.8	2.5	-	-	3
果 樹	4	40	100.0	72.5	25.0	2.5	-	-	4
そ の 他 の 作 物	5	72	100.0	61.1	36.1	2.8	-	-	5
畜 産	6	56	100.0	60.7	33.9	3.6	1.8	-	6
事 務 所 別									
福 岡	7	56	100.0	55.3	42.9	1.8	-	-	7
佐 賀	8	39	100.0	61.5	28.2	10.3	-	-	8
長 崎	9	36	100.0	69.4	27.8	-	2.8	-	9
熊 本	10	54	100.0	68.5	31.5	-	-	-	10
大 分	11	41	100.0	68.4	26.8	2.4	2.4	-	11
宮 崎	12	38	100.0	73.7	26.3	-	-	-	12
鹿 児 島	13	54	100.0	61.1	37.0	1.9	-	-	13

## 【 統 計 表 】

### (4) 生物多様性の取組・連携・課題に関する意識

図6 生物多様性の保全に取り組みたいかについて

単位：%

区 分	回答者数	計	既に生物多様性の保全に取り組んでいる	生物多様性の保全に取り組みたい	どちらかといえば、生物多様性の保全に取り組みたい	地域で生物多様性の保全に取り組めば、一緒に取り組みたい	どちらかといえば、生物多様性の保全に取り組みたくない	生物多様性の保全に取り組みたくない	無回答	区分	
計	1	318	100.0	11.6	22.0	22.0	37.1	3.8	1.6	1.9	1
経 営 部 門 別											
稲 作	2	69	100.0	13.0	26.1	20.3	34.9	1.4	2.9	1.4	2
野 菜	3	81	100.0	17.3	22.2	19.8	33.3	3.7	2.5	1.2	3
果 樹	4	40	100.0	10.0	15.0	30.0	40.0	2.5	2.5	-	4
そ の 他 の 作 物	5	72	100.0	11.1	13.9	22.2	43.1	6.9	-	2.8	5
畜 産	6	56	100.0	3.6	32.1	21.4	35.7	3.6	-	3.6	6
事 務 所 別											
福 岡	7	56	100.0	10.7	19.6	28.6	33.9	5.4	1.8	-	7
佐 賀	8	39	100.0	5.1	15.4	30.8	35.8	10.3	2.6	-	8
長 崎	9	36	100.0	13.9	30.6	11.1	44.4	-	-	-	9
熊 本	10	54	100.0	14.8	22.2	20.4	33.3	-	3.7	5.6	10
大 分	11	41	100.0	14.6	22.0	29.3	26.8	4.9	2.4	-	11
宮 崎	12	38	100.0	7.9	28.9	13.2	50.0	-	-	-	12
鹿 児 島	13	54	100.0	13.0	18.5	18.5	38.8	5.6	-	5.6	13

## 【 統 計 表 】

図7-1 生物多様性を保全するために農業者以外の人(団体)と連携・協力したいかについて

単位：%

区 分	回答者数	計	農業者以外の人とも連携・協力したい	どちらかといえば、農業者以外の人とも連携・協力したい	どちらかといえば、農業者以外の人と連携・協力する必要はない	農業者以外の人と連携・協力する必要はない	無回答	区分
計	1	318	44.0	46.9	5.0	2.2	1.9	1
人								
経 営 部 門 別								
稲 作	2	69	49.4	44.9	1.4	2.9	1.4	2
野 菜	3	81	47.0	45.7	4.9	1.2	1.2	3
果 樹	4	40	50.0	37.5	10.0	2.5	-	4
そ の 他 の 作 物	5	72	30.6	58.2	5.6	2.8	2.8	5
畜 産	6	56	46.3	42.9	5.4	1.8	3.6	6
事 務 所 別								
福 岡	7	56	39.3	50.0	8.9	1.8	-	7
佐 賀	8	39	38.5	56.4	5.1	-	-	8
長 崎	9	36	50.0	38.9	8.3	2.8	-	9
熊 本	10	54	42.6	46.2	3.7	1.9	5.6	10
大 分	11	41	39.0	48.8	4.9	7.3	-	11
宮 崎	12	38	55.3	42.1	2.6	-	-	12
鹿 児 島	13	54	46.2	44.4	1.9	1.9	5.6	13

## 【 統 計 表 】

図7-2 どんな人（団体）と協力・連携したいか（複数回答）

\* 図7-1で「連携・協力したい（どちらかといえば、を含む）」と回答した：289人に対する割合。

単位：%

区 分	回答者数	計	地域住民（集落内の非農家等）	地域の農業関連団体（農業協同組合、農業委員会、土地改良区）	地域の教育機関（小・中学校、高校）	試験・研究機関（試験・研究所、大学）	区分
計	289	100.0	72.3	30.4	36.7	10.0	1
人							
経 営 部 門 別							
稲 作	65	100.0	70.8	41.5	30.8	9.2	2
野 菜	75	100.0	77.3	25.3	38.7	10.7	3
果 樹	35	100.0	82.9	34.3	42.9	8.6	4
その他の作物	64	100.0	64.1	35.9	34.4	9.4	5
畜 産	50	100.0	70.0	14.0	40.0	12.0	6
事 務 所 別							
福 岡	50	100.0	74.0	20.0	40.0	12.0	7
佐 賀	37	100.0	73.0	27.0	32.4	16.2	8
長 崎	32	100.0	84.4	37.5	28.1	6.3	9
熊 本	48	100.0	66.7	33.3	41.7	14.6	10
大 分	36	100.0	66.7	30.6	47.2	8.3	11
宮 崎	37	100.0	81.1	37.8	24.3	-	12
鹿 児 島	49	100.0	65.3	30.6	38.8	10.2	13

  

区 分	地域以外の住民（都市住民、環境ボランティア(NPO)）	行政機関（市町村、県、国）	民間企業	その他	無回答	区分
計	11.8	29.1	1.4	0.7	1.0	1
経 営 部 門 別						
稲 作	6.2	33.8	1.5	1.5	1.5	2
野 菜	8.0	32.0	-	-	1.3	3
果 樹	5.7	17.1	-	-	-	4
その他の作物	14.1	25.0	1.6	-	1.6	5
畜 産	26.0	32.0	4.0	2.0	-	6
事 務 所 別						
福 岡	14.0	24.0	4.0	-	-	7
佐 賀	8.1	35.1	-	-	2.7	8
長 崎	-	40.6	-	-	-	9
熊 本	14.6	18.8	2.1	2.1	2.1	10
大 分	19.4	22.2	-	-	-	11
宮 崎	16.2	29.7	2.7	2.7	-	12
鹿 児 島	8.2	36.7	-	-	2.0	13

## 【 統 計 表 】

図8 生物多様性を保全するための取組を行う場合の課題について (複数回答)

単位：%

区 分	回答者数	計	どのような取組 を行えばいいの かが分からない	周囲の関心が低 く、個人だけ は取組めない	取組を誘導する リーダー的な人 材がない	取組に必要な経 費がない	区 分	
計	1	318	100.0	26.1	51.6	36.8	32.4	1
人								
経 営 部 門 別								
稲 作	2	69	100.0	18.8	55.1	33.3	50.7	2
野 菜	3	81	100.0	24.7	48.1	38.3	25.9	3
果 樹	4	40	100.0	32.5	52.5	40.0	30.0	4
そ の 他 の 作 物	5	72	100.0	29.2	50.0	38.9	30.6	5
畜 産	6	56	100.0	28.6	53.6	33.9	23.2	6
事 務 所 別								
福 岡	7	56	100.0	28.6	46.4	42.9	25.0	7
佐 賀	8	39	100.0	33.3	43.6	35.9	53.8	8
長 崎	9	36	100.0	25.0	47.2	30.6	27.8	9
熊 本	10	54	100.0	14.8	55.6	42.6	31.5	10
大 分	11	41	100.0	17.1	58.5	36.6	26.8	11
宮 崎	12	38	100.0	34.2	55.3	31.6	34.2	12
鹿 児 島	13	54	100.0	31.5	53.7	33.3	31.5	13

  

区 分	生物に配慮した 土水路などは維 持管理(労力、 経費)の負担が 大きい	生物に配慮した 環境保全型農業 (減農薬など) を実施した場 合、作物生産の コストの増加や 品質が悪くなる	生物多様性に関 する情報が少な い	その他	無回答	区 分	
計	1	47.5	43.7	33.0	1.3	3.8	1
経 営 部 門 別							
稲 作	2	47.8	42.0	27.5	2.9	4.3	2
野 菜	3	51.9	44.4	37.0	1.2	2.5	3
果 樹	4	45.0	45.0	32.5	-	-	4
そ の 他 の 作 物	5	45.8	45.8	29.2	-	4.2	5
畜 産	6	44.6	41.1	39.3	1.8	7.1	6
事 務 所 別							
福 岡	7	53.6	41.1	37.5	1.8	-	7
佐 賀	8	41.0	43.6	33.3	2.6	-	8
長 崎	9	66.7	52.8	25.0	2.8	2.8	9
熊 本	10	37.0	37.0	38.9	-	9.3	10
大 分	11	51.2	43.9	34.1	-	4.9	11
宮 崎	12	39.5	55.3	28.9	-	-	12
鹿 児 島	13	46.3	38.9	29.6	1.9	7.4	13

# 【 統 計 表 】

図9 生物に配慮した農作物を販売することについて

単位：％

区 分	回答者数	計	積極的に取り組んでいくべき	どちらかといえば、取り組んでいくべき	どちらかといえば、取り組むべきではない	取り組むべきではない	無回答	区分	
計	1	318	100.0	46.8	44.7	4.1	2.5	1.9	1
人									
経 営 部 門 別									
稲 作	2	69	100.0	53.7	40.6	2.9	1.4	1.4	2
野 菜	3	81	100.0	37.0	54.4	3.7	3.7	1.2	3
果 樹	4	40	100.0	52.5	42.5	2.5	2.5	-	4
そ の 他 の 作 物	5	72	100.0	44.4	44.4	5.6	2.8	2.8	5
畜 産	6	56	100.0	51.7	37.5	5.4	1.8	3.6	6
事 務 所 別									
福 岡	7	56	100.0	39.3	51.8	7.1	1.8	-	7
佐 賀	8	39	100.0	35.9	48.7	7.7	7.7	-	8
長 崎	9	36	100.0	58.3	36.1	5.6	-	-	9
熊 本	10	54	100.0	44.3	42.6	1.9	5.6	5.6	10
大 分	11	41	100.0	51.2	43.9	4.9	-	-	11
宮 崎	12	38	100.0	57.9	42.1	-	-	-	12
鹿 児 島	13	54	100.0	46.2	44.4	1.9	1.9	5.6	13